

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 52513 単位数 : 4

科目名	政治学史	科目責任者	土井 美德
課題と試験担当教員			
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CLAWP340		

■ 科目概要

政治学史はギリシア古典期に始まり、中世から近代・現代に至る政治学的思索、あるいは政治理論、政治哲学、政治思想などと言われる事柄を歴史的に把握し研究しようとするものである。このような幾世紀にもわたる政治学的思索のうちには、人類社会の宿命的課題に直面しつつ、それと誠実に取り組んできた各時代最高の知性の苦悩の跡をたどることができる。

一般に西洋政治社会の発展は、ポリス、普遍社会、国民国家の三段階に区分されうるが、そうした異なる社会類型に対応して、あるいはさらにそれらの各時代に応じて、諸々の特徴的な政治学説が展開されたのである。その総体は知的遺産としても膨大なものである。また個々の思想家の執筆した原典はそれ自体、今日でも重要な批判的研究の対象たりうる。しかし、むしろ現代においても新しい観点からする政治学や政治哲学の企ては止むことがない。

■ 到達目標

古典古代の民主制から始めて、ルネサンスと宗教改革、そして近代市民革命と自由主義思想あたりまで、歴史的展開に沿って体系的に政治理論を理解する。

プラトン、アリストテレス、アウグスティヌス、アキナス、マキアヴェリ、ロック、モンテスキュー、ルソー、カント、トクヴィル、マルクスなど、主要な思想家の人間観や政治観をそれぞれのコンテクストの中で十分に理解する。しっかりした政治理論を、われわれの時代の政治社会を改善するのに役立つ知的道具として身につける。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
第一部	ポリスの政治－生成と没落 ポリスの形成
第一部	プラトンの哲学的理想 ソクラテス裁判
第一部	プラトンの哲学的理想 正義をめぐる対話
第一部	アリストテレスの政治学 理論的考察
第一部	アリストテレスの政治学 国制の比較研究と現美国論
第一部	ストア学派とエピクロス学派 キケロの共和主義
第一部	アウグスティヌスと中世政治思想のパラダイム形成 原始キリスト教と政治の世界
第一部	アウグスティヌスと中世政治思想のパラダイム形成 意志の発見と愛の概念
第一部	中世国家とアキナスの政治哲学 中世国家の成立
第一部	中世国家とアキナスの政治哲学 自然法思想

学習範囲 該当する章など	学習内容
第二部	近代的な国家概念への道 ステイトの概念
第二部	マキアヴェリと国家概念の転換 フォルトゥーナとヴィルトゥ
第二部	ホブズと近代的国家概念の成立 絶対的主権の理論へ
第二部	ピューリタン革命と共和主義 ハリントンの共和主義
第二部	ロックの政治思想 同意による革命
第二部	モンテスキュー比較と均衡 権力分立論
第二部	ルソー政治参加の夢想 社会契約と政治参加
第二部	バークの保守主義 イギリス憲法体制の擁護
第二部	ドイツ観念論の政治思想 カント フィヒテ
第二部	ヘーゲルの政治思想 『法の哲学』の国家観
第三部	ベンサムと哲学的急進派 功利の原理
第三部	J. S. ミルの『自由論』 個性の擁護
第三部	フランスの自由主義 トクヴィル
第三部	初期社会主義 空想的社会主義
第三部	マルクス主義 レーニン
第三部	ニーチェとウェーバー 価値自由と学問
第三部	西欧マルクス主義 フランクフルト学派
第三部	公的空間と対話的理性 実存主義の政治思想
第三部	構造主義とポストモダン 考古学と系譜学

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	各時代の主要な政治思想について、論述を通しての理解度をみる。また合わせて、各時代の出来事、人名、著作についての知識を問う。
レポート	各時代の政治思想家の代表的作品について思想内容を報告する。

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■教科書

書名：政治思想史講義
著者名：白石他編
出版社名：早稲田大学
出版年：1998.8
版：初版
刷：1
ISBN：978-4-657-98628-3

■参考書

主な参考書は、教科書の巻末に出ている。

■履修上のアドバイス

教科書に出ている主要な思想家（第一部、二部、三部にそれぞれ5人～10人）の政治思想をノートに要約しつつ理解するようにしたい。

■自習時間

レポート1課題あたりの作成に10時間、科目試験のために最低20時間学習してください。

■担当者のプロフィール

①〈生年〉1964年 ②〈出身地〉兵庫県 ③〈出身大学〉創価大学・早稲田大学大学院（修士・博士課程）、政治学博士 ④〈所属〉法学部 ⑤〈専門分野〉近現代ヨーロッパの政治、EU統合、現代政治理論、立憲主義、民主主義と公共政策の形成過程 ⑥〈主な担当科目〉公共政策論Ⅰ、日本政治史、西洋政治史、特殊講義（公共政策ワークショップ） ⑦〈主な著書等〉『イギリス立憲政治の源流』（単著）、『政治学の世界』（共著）、『「ヨーロッパ」の歴史的再検討』（共著）、デヴィッド・ヘルド『デモクラシーと世界秩序—地球市民の政治学』（共訳）、シャンタル・ムフ『政治的なるものの再興』（共訳）、ユルゲン・コッカ『社会史とは何か—その方法と軌跡』（共訳）、ほか ⑧〈趣味〉子どもと遊ぶこと。